

別表第1 (第2条関係)

1 生物資源環境学研究科生産科学専攻

区分	授業科目	配当年次	単位数		
			必修	選択	自由
研究科共通科目	科学技術史	1・2		2	
	科学技術倫理	(隔年)		2	
	Advanced Course of Food Science	1		2	
	生物資源環境学特論Ⅰ	1		2	
	生物資源環境学特論Ⅱ	1		2	
	生物資源環境学特論Ⅲ	1		2	
	生物資源環境学特論Ⅳ	1		2	
	生物資源環境地域ビジネス論	1・2		2	
		(隔年)			
小計 (9科目)	—	0	16	0	
専攻専門科目	生産科学特別講義Ⅰ	1・2		1	
	生産科学特別講義Ⅱ	(隔年)		1	
	植物分子機能学特論			2	
	植物生産機能調節論	1・2		2	
	動物資源特論	(隔年)		2	
	資源管理特論			2	
	生産科学演習Ⅰ	1、2		2、2	
	生産科学演習Ⅱ	1、2		2、2	
	生産科学演習Ⅲ	1、2		2、2	
	生産科学演習Ⅳ	1、2		2、2	
	生産科学課題研究 (研究指導)	1、2	10		
	小計 (11科目)	—	10	26	0
他専攻専門科目	環境科学専攻専門科目				
	環境科学特別講義Ⅰ	1、2		1	
	環境科学特別講義Ⅱ	1、2		1	
	田園資源活用学特論			2	
	生物環境保全学特論	1・2		2	
	水環境管理学特論	(隔年)		2	
	里山里海創生学特論			2	
	食品科学専攻専門科目				
	食品科学特別講義Ⅰ	1・2		1	
	食品科学特別講義Ⅱ	(隔年)		1	
	生体分子機能学特論			2	
	食品製造学特論	1・2		2	
	食品機能学特論	(隔年)		2	
	食品安全学特論			2	
	応用生命科学専攻専門科目				
	応用生命科学特別講義Ⅰ	1・2		1	
	応用生命科学特別講義Ⅱ	(隔年)		1	
	植物遺伝子機能学特論			2	
	植物細胞育種学特論	1・2		2	
	応用微生物学特論	(隔年)		2	
環境生物システム学特論			2		
小計 (19科目)	—	0	32	0	
合計 (39科目)	—	10	74		
(修了要件及び履修方法)					
講義16単位以上、演習4単位以上、生産科学課題研究 (研究指導) 10単位を含め、30単位以上を修得すること。ただし、講義16単位以上には専攻専門科目のうちから6単位以上を含むこと。さらに、研究指導を受けた上で、修士論文を提出し、審査及び最終試験に合格すること					

2 生物資源環境学研究科環境科学専攻

区分	授業科目	配当年次	単位数		
			必修	選択	自由
研究科共通科目	科学技術史	1・2		2	
	科学技術倫理	(隔年)		2	
	Advanced Course of Food Science	1		2	
	生物資源環境学特論Ⅰ	1		2	
	生物資源環境学特論Ⅱ	1		2	
	生物資源環境学特論Ⅲ	1		2	
	生物資源環境学特論Ⅳ	1		2	
	生物資源環境地域ビジネス論	1・2		2	
		(隔年)			
小計(9科目)	—	0	16	0	
専攻専門科目	環境科学特別講義Ⅰ	1、2		1	
	環境科学特別講義Ⅱ	1、2		1	
	田園資源活用学特論			2	
	生物環境保全学特論	1・2		2	
	水環境管理学特論	(隔年)		2	
	里山里海創生学特論			2	
	環境科学演習Ⅰ	1、2		2、2	
	環境科学演習Ⅱ	1、2		2、2	
	環境科学演習Ⅲ	1、2		2、2	
	環境科学演習Ⅳ	1、2		2、2	
	環境科学課題研究(研究指導)	1、2	10		
	小計(11科目)	—	10	26	0
他専攻専門科目	生産科学専攻専門科目				
	生産科学特別講義Ⅰ	1・2		1	
	生産科学特別講義Ⅱ	(隔年)		1	
	植物分子機能学特論			2	
	植物生産機能調節論	1・2		2	
	動物資源特論	(隔年)		2	
	資源管理特論			2	
	食品科学専攻専門科目				
	食品科学特別講義Ⅰ	1・2		1	
	食品科学特別講義Ⅱ	(隔年)		1	
	生体分子機能学特論			2	
	食品製造学特論	1・2		2	
	食品機能学特論	(隔年)		2	
	食品安全学特論			2	
	応用生命科学専攻専門科目				
	応用生命科学特別講義Ⅰ	1・2		1	
	応用生命科学特別講義Ⅱ	(隔年)		1	
	植物遺伝子機能学特論			2	
	植物細胞育種学特論	1・2		2	
	応用微生物学特論	(隔年)		2	
環境生物システム学特論			2		
小計(19科目)	—	0	32	0	
合計(39科目)	—	10	74	0	
(修了要件及び履修方法)					
講義16単位以上、演習4単位以上、環境科学課題研究(研究指導)10単位を含め、30単位以上を修得すること。ただし、講義16単位以上には専攻専門科目のうちから8単位以上を含むこと。さらに、研究指導を受けた上で、修士論文を提出し、審査及び最終試験に合格すること。					

3 生物資源環境学研究科食品科学専攻

区分	授業科目	配当年次	単位数		
			必修	選択	自由
研究科共通科目	科学技術史	1・2		2	
	科学技術倫理	(隔年)		2	
	Advanced Course of Food Science	1		2	
	生物資源環境学特論Ⅰ	1		2	
	生物資源環境学特論Ⅱ	1		2	
	生物資源環境学特論Ⅲ	1		2	
	生物資源環境学特論Ⅳ	1		2	
	生物資源環境地域ビジネス論	1・2		2	
		(隔年)			
小計(9科目)	—	0	16	0	
専攻専門科目	食品科学特別講義Ⅰ	1・2		1	
	食品科学特別講義Ⅱ	(隔年)		1	
	生体分子機能学特論			2	
	食品製造学特論	1・2		2	
	食品機能学特論	(隔年)		2	
	食品安全学特論			2	
	食品科学演習Ⅰ	1、2		2、2	
	食品科学演習Ⅱ	1、2		2、2	
	食品科学演習Ⅲ	1、2		2、2	
	食品科学演習Ⅳ	1、2		2、2	
	食品科学課題研究(研究指導)	1、2	10		
小計(11科目)	—	10	26	0	
他専攻専門科目	生産科学専攻専門科目				
	生産科学特別講義Ⅰ	1・2		1	
	生産科学特別講義Ⅱ	(隔年)		1	
	植物分子機能学特論			2	
	植物生産機能調節論	1・2		2	
	動物資源特論	(隔年)		2	
	資源管理特論			2	
	環境科学専攻専門科目				
	環境科学特別講義Ⅰ	1、2		1	
	環境科学特別講義Ⅱ	1、2		1	
	田園資源活用学特論			2	
	生物環境保全学特論	1・2		2	
	水環境管理学特論	(隔年)		2	
	里山里海創生学特論			2	
	応用生命科学専攻専門科目				
	応用生命科学特別講義Ⅰ	1・2		1	
	応用生命科学特別講義Ⅱ	(隔年)		1	
	植物遺伝子機能学特論			2	
	植物細胞育種学特論	1・2		2	
応用微生物学特論	(隔年)		2		
環境生物システム学特論			2		
小計(19科目)	—	0	32	0	
合計(39科目)	—	10	74	0	
(修了要件及び履修方法)					
講義16単位以上、演習4単位以上、食品科学課題研究(研究指導)10単位を含め、30単位以上を修得すること。ただし、講義16単位以上には専攻専門科目のうちから8単位以上を含むこと。さらに、研究指導を受けた上で、修士論文を提出し、審査及び最終試験に合格すること。					

4 生物資源環境学研究科応用生命科学専攻

区分	授業科目	配当年次	単位数		
			必修	選択	自由
研究科共通科目	科学技術史	1・2		2	
	科学技術倫理	(隔年)		2	
	Advanced Course of Food Science	1		2	
	生物資源環境学特論Ⅰ	1		2	
	生物資源環境学特論Ⅱ	1		2	
	生物資源環境学特論Ⅲ	1		2	
	生物資源環境学特論Ⅳ	1		2	
	生物資源環境地域ビジネス論	1・2		2	
		(隔年)			
小計(9科目)	—	0	16	0	
専攻専門科目	応用生命科学特別講義Ⅰ	1・2		1	
	応用生命科学特別講義Ⅱ	(隔年)		1	
	植物遺伝子機能学特論			2	
	植物細胞育種学特論	1・2		2	
	応用微生物学特論	(隔年)		2	
	環境生物システム学特論			2	
	応用生命科学演習Ⅰ			2、2	
	応用生命科学演習Ⅱ	1・2		2、2	
	応用生命科学演習Ⅲ	(隔年)		2、2	
	応用生命科学演習Ⅳ			2、2	
	応用生命科学課題研究(研究指導)		10		
	小計(12科目)	—	10	28	0
他専攻専門科目	生産科学専攻専門科目				
	生産科学特別講義Ⅰ	1・2		1	
	生産科学特別講義Ⅱ	(隔年)		1	
	植物分子機能学特論			2	
	植物生産機能調節論	1・2		2	
	動物資源特論	(隔年)		2	
	資源管理特論			2	
	環境科学専攻専門科目				
	環境科学特別講義Ⅰ	1、2		1	
	環境科学特別講義Ⅱ	1、2		1	
	田園資源活用学特論			2	
	生物環境保全学特論	1・2		2	
	水環境管理学特論	(隔年)		2	
	里山里海創生学特論			2	
	食品科学専攻専門科目				
	食品科学特別講義Ⅰ	1・2		1	
	食品科学特別講義Ⅱ	(隔年)		1	
	生体分子機能学特論			2	
食品製造学特論	1・2		2		
食品機能学特論	(隔年)		2		
食品安全学特論			2		
小計(18科目)	—	0	30	0	
合計(39科目)	—	10	74	0	
(修了要件及び履修方法)					
講義16単位以上、演習4単位以上、応用生命科学課題研究(研究指導)10単位を含め、30単位以上を修得すること。ただし、講義16単位以上には専攻専門科目のうちから8単位以上を含むこと。さらに、研究指導を受けた上で、修士論文を提出し、審査及び最終試験に合格すること。					

別表第2 (第2条関係)

1 生物資源環境学研究科自然人間共生科学専攻

区分	授業科目	配当年次	単位数		
			必修	選択	自由
研究科共通	科学技術史	1・2			2
	科学技術倫理	(隔年)			2
	Advanced Course of Food Science	1			2
	生物資源環境学特論Ⅰ	1			2
	生物資源環境学特論Ⅱ	1			2
	生物資源環境学特論Ⅲ	1			2
	生物資源環境学特論Ⅳ	1			2
	生物資源環境地域ビジネス論	1・2			2
		(隔年)			
小計 (9科目)	—	0	0	16	
専攻専門科目	自然人間共生科学演習Ⅰ	1、2、3		6	
	自然人間共生科学演習Ⅱ	1、2、3		6	
	自然人間共生科学課題研究(研究指導)	1、2、3	10		
	小計 (3科目)	—	10	12	0
博士前期課程専攻専門科目	生産科学専攻 M 専門科目				
	生産科学特別講義Ⅰ	1・2			1
	生産科学特別講義Ⅱ	(隔年)			1
	植物分子機能学特論				2
	植物生産機能調節論	1・2			2
	動物資源特論	(隔年)			2
	資源管理特論				2
	環境科学専攻 M 専門科目				
	環境科学特別講義Ⅰ	1、2			1
	環境科学特別講義Ⅱ	1、2			1
	田園資源活用学特論				2
	生物環境保全学特論	1・2			2
	水環境管理学特論	(隔年)			2
	里山里海創生学特論				2
	食品科学専攻 M 専門科目				
	食品科学特別講義Ⅰ	1・2			1
	食品科学特別講義Ⅱ	(隔年)			1
	生体分子機能学特論				2
	食品製造学特論	1・2			2
	食品機能学特論	(隔年)			2
	食品安全学特論				2
	応用生命科学専攻 M 専門科目				
	応用生命科学特別講義Ⅰ	1・2			1
	応用生命科学特別講義Ⅱ	(隔年)			1
	植物遺伝子機能学特論				2
植物細胞育種学特論	1・2			2	
応用微生物学特論	(隔年)			2	
環境生物システム学特論				2	
小計 (25科目)	—	0	0	42	
合計 (37科目)	—	10	12	58	
(修了要件及び履修方法)					
演習6単位以上、自然人間共生科学課題研究(研究指導)10単位、合計16単位以上を修得すること。さらに、研究指導を受けた上で、博士論文を提出し、審査及び最終試験に合格すること。博士前期課程における未履修の授業科目を自由科目として履修してもよいが、修了要件の単位としては認めない。					

2 生物資源環境学研究科生物機能開発科学専攻

区分	授業科目	配当年次	単位数		
			必修	選択	自由
研究科共通科目	科学技術史	1・2			2
	科学技術倫理	(隔年)			2
	Advanced Course of Food Science	1			2
	生物資源環境学特論Ⅰ	1			2
	生物資源環境学特論Ⅱ	1			2
	生物資源環境学特論Ⅲ	1			2
	生物資源環境学特論Ⅳ	1			2
	生物資源環境地域ビジネス論	1・2			2
		(隔年)			
小計 (9科目)	—	0	0	16	
専攻専門科目	生物機能開発科学演習Ⅰ	1、2、3		6	
	生物機能開発科学演習Ⅱ	1、2、3		6	
	生物機能開発科学課題研究(研究指導)	1、2、3	10		
	小計 (3科目)	—	10	12	0
博士前期課程専攻専門科目	生産科学専攻 M 専門科目				
	生産科学特別講義Ⅰ	1・2			1
	生産科学特別講義Ⅱ	(隔年)			1
	植物分子機能学特論				2
	植物生産機能調節論	1・2			2
	動物資源特論	(隔年)			2
	資源管理特論				2
	環境科学専攻 M 専門科目				
	環境科学特別講義Ⅰ	1、2			1
	環境科学特別講義Ⅱ	1、2			1
	田園資源活用学特論				2
	生物環境保全学特論	1・2			2
	水環境管理学特論	(隔年)			2
	里山里海創生学特論				2
	食品科学専攻 M 専門科目				
	食品科学特別講義Ⅰ	1・2			1
	食品科学特別講義Ⅱ	(隔年)			1
	生体分子機能学特論				2
	食品製造学特論	1・2			2
	食品機能学特論	(隔年)			2
	食品安全学特論				2
	応用生命科学専攻 M 専門科目				
	応用生命科学特別講義Ⅰ	1・2			1
	応用生命科学特別講義Ⅱ	(隔年)			1
	植物遺伝子機能学特論				2
植物細胞育種学特論	1・2			2	
応用微生物学特論	(隔年)			2	
環境生物システム学特論				2	
小計 (25科目)	—	0	0	42	
合計 (37科目)	—	10	12	58	
(修了要件及び履修方法)					
<p>演習6単位以上、生物機能開発科学課題研究(研究指導)10単位、合計16単位以上を修得すること。さらに、研究指導を受けた上で、博士論文を提出し、審査及び最終試験に合格すること。博士前期課程における未履修の授業科目を自由科目として履修してもよいが、修了要件の単位としては認めない。</p>					